

広島市優良建設工事・建設コンサルタント業務等表彰実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、広島市表彰条例（昭和24年広島市条例13号）に基づき、広島市が発注する建設工事又は建設コンサルタント業務等において、優れた成績を修め、担い手育成等に取り組んだ受注者及び技術者を表彰することにより、受注者及び技術者の意欲の高揚を図り、建設業界の魅力や社会的評価を向上させ、もって将来にわたる建設業界の維持・発展と公共事業の品質確保を図ることを目的とする。

(定義)

- 第2条 この要綱において「建設工事」とは、広島市建設工事競争入札取扱要綱（平成8年4月1日制定）第2条第1項に規定する建設工事及び工事をいう。
- 2 この要綱において「工種」とは、広島市建設工事競争入札取扱要綱第2条第2項に規定する工種をいう。
- 3 この要綱において「建設コンサルタント業務等」とは、広島市建設コンサルタント業務等競争入札取扱要綱（平成18年5月31日制定）第2条第1項に規定する建設コンサルタント業務等及び業務をいう。
- 4 この要綱において「業種」とは、広島市建設コンサルタント業務等競争入札取扱要綱第2条第3項に規定する業種をいう。

(表彰区分等)

- 第3条 表彰は、次の各号に掲げる区分について、被表彰候補者を選定する。
- (1) 優良建設工事表彰
 - (2) 優良建設コンサルタント業務等表彰
 - (3) 優良技術者表彰
 - (4) 特別表彰
- 2 前項第1号及び第2号に規定する区分については、被表彰候補者を公募する。

(表彰の対象)

第4条 表彰は、次の各号に掲げる区分ごとに定める基準を満たす者について行う。

(1) 優良建設工事表彰

- ア 前年度に引渡しを受け、かつ、表彰年度の4月末日までに工事成績評定通知書を受けた最終契約金額1,000万円（消費税及び地方消費税相当額を含む。）以上の建設工事において、工事検査成績評定点が別表1の選定基準Aに定める点数以上の建設工事のうち、評価点（工事検査成績評定点と別途定める加算点との合計点、又は工事検査成績評定点のみ）が、選定基準Bに定める点数以上であること。
- イ 共同企業体の建設工事における優良建設工事表彰候補者の選定に当たっては、工事検査成績評定点をそれぞれの構成員の成績とし、構成員ごとに各々1工事として取扱う。
- ウ 表彰の候補である建設工事において労働災害、公衆災害等（受注者の責めに帰すことができないものを除く。）を起こしていないこと。
- エ 広島市内に本店を有する業者であること。
- オ 前年度に引渡しを受け、かつ、表彰年度の4月末日までに工事成績評定通知書を受けた広島市発注建設工事の実績が2件以上有り、その工事検査成績評定点の平均点が76点以上で、かつ、65点未満の建設工事が無いこと。（共同企業体の構成員として施工した建設工事を含む。）

カ 前年度に、広島市競争入札参加資格者指名停止措置要綱（平成8年3月29日制定）第2条第1項に規定する指名停止の措置を受けていないこと。

(2) 優良建設コンサルタント業務等表彰

ア 前年度に引渡しを受け、かつ、表彰年度の4月末日までに業務成績評定通知書を受けた最終契約金額500万円（消費税及び地方消費税相当額を含む。）以上の建設コンサルタント業務等において、業務成績評定点が別表1の選定基準Aに定める点数以上であること。

イ 共同企業体の建設コンサルタント業務等における優良建設コンサルタント業務等表彰候補者の選定に当たっては、業務成績評定点をそれぞれの構成員の成績とし、構成員ごとに各々1業務として取扱う。

ウ 表彰の候補である建設コンサルタント業務等において労働災害、公衆災害等（受注者の責めに帰すことができないものを除く。）を起こしていないこと。

エ 広島市内に本店を有する業者であること。

オ 前年度に引渡しを受け、かつ、表彰年度の4月末日までに業務成績評定通知書を受けた広島市発注建設コンサルタント業務等の実績が2件以上有り、その業務成績評定点の平均点が78点以上で、かつ、65点未満の建設コンサルタント業務等が無いこと。（共同企業体の構成員として履行した建設コンサルタント業務等を含む。）

カ 前年度に、広島市競争入札参加資格者指名停止措置要綱（平成8年3月29日制定）第2条第1項に規定する指名停止の措置を受けていないこと。

(3) 優良技術者表彰

前2号に掲げる表彰の対象となる建設工事又は建設コンサルタント業務等において、専任を要しない期間を除いた全期間にわたって従事していた者（建設工事にあつては監理技術者又は主任技術者、建設コンサルタント業務等にあつては主たる業務分野の管理技術者）とする。

(4) 特別表彰

ア 同一の工種又は業種において、前3号に掲げる表彰を4年度以上連続して受け、その翌年度に表彰の対象となった者とする。

イ 複数年度にわたる建設工事・建設コンサルタント業務等については、優良技術者表彰の対象となる契約期間の属する全ての年度を1年度として取扱う。

（被表彰者の決定）

第5条 被表彰者は、広島市優良建設工事・建設コンサルタント業務等表彰審査委員会（以下「審査委員会」という。）の審査を経て決定する。

2 審査委員会において、被表彰候補者を表彰することが適当でないと判断した場合は、被表彰者とししない。

（表彰の方法）

第6条 表彰は、市長が表彰状を贈って、これを行う。

（表彰の取消し）

第7条 被表彰者の決定後、次の各号のいずれかの事実が判明した場合には、審査委員会の審議を経て、市長が表彰を取り消すことがある。

(1) 被表彰者が第5条第1号から第3号までに定める基準を満たさない場合

(2) 表彰の対象となった建設工事又は建設コンサルタント業務等において、瑕疵の修補請求又は損害賠償請求の事由が発生した場合

(3) その他表彰することが適当でないと判断される事実が判明した場合

(その他)

第8条 この要綱に定めのない事項については、都市整備局長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年12月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年6月1日から施行する。

附 則

1 (施行期日)

この要綱は、令和5年12月20日から施行する。

2 (経過措置)

第4条第4号に規定する特別表彰のうち、第4条第1号の優良建設工事表彰及び第3号のうち建設工事に係る優良技術者表彰における、令和6年度の表彰対象を選定する基準については、なお従前の例による。

【別表1】

区分	業種又は分野	選定基準	
		選定基準A	選定基準B
建設工事	土木一式工事、建築一式工事等全ての工事	86点	89点
建設コンサルタント業務等	地質調査業務、測量業務、土木関係コンサルタント業務(監理業務を除く)、建築設計等業務	85点	

附 則

この要綱は、令和8年4月1日から施行する。